

松本大学災害支援プロジェクト活動報告
—皆様の援助により、復興支援を順調に進めること
ができました。感謝いたします。—

松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト 泥掻き出し作業・小学校復興作業(4月～7月)

一日も早い授業再開を目指して！



カウンセリング (5月から継続)・学習指導



「One Day 弾丸ツアー」(5月25,26,27日)

石巻の現地では受入先との調整を図り、受入体制を整えて実施へ。一方、学内では、学生及び教職員に案内を出し、希望者を募り、メンバーを決定。参加者向けオリエンテーションとボランティア活動の専門家による参加者への事前指導。当日は、プロジェクトのメンバーと引率の教職員が協力して、混乱を招かないように、また事故の起きないように配慮。地元の皆さんから感謝され、学生にも良い効果。



大街道小学校の皆さんを迎えて「松本サマーキャンプ」

8月8日(月)夕方、「大街道小学校のみなさん、ようこそ！」横断幕でお出迎え。浅間温泉にてお世話担当と食事。



8月9日(火)昼間は、7つのグループに分かれて、松本大学のお兄さん、お姉さんと松本を楽しみました。夜は、浅間温泉や本郷小学校の皆さんと楽しい縁日。



8月10日朝。前日の夜、旅館で「帰りたくない」「時間をもったいない」と学生たちと夜更かししていた児童たちでしたが、全員元気で集合写真、松本を出発しました。



大学祭での復興支援 石巻物産販売(10月)

さんま・笹かまぼこ・災害缶詰・石巻焼そばを販売。



災害に関するシンポジウムも開催しました。



松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動報告

派遣隊	日程		参加人数						活動内容	備考
	出発日	～ 帰省日	教員	専門家	職員	学生	他	計		
1 先発隊	4/14	木 4/17	日 3	1		2	2	8	ボランティアセンター訪問、地域のニーズ調査、大街道小学校との打合せ、家屋の瓦礫撤去作業、小学生の遊び相手	宮城県石巻市出身の教員のツテを頼りに支援地を決定。支援方法は「顔の見える支援」を行う。
2 第1次	4/24	日 4/27	水 3	2		5	1	11	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去作業、小学生の遊び相手、次回の打合せ	大街道小学校及び校区を長期にわたり復興支援する地域限定・地域密着形の支援体型をとる。
3 第2次	4/26	火 4/30	土		1	6	1	8	大街道小学校区内の家屋の瓦礫出し・泥出し作業	第1次派遣隊の学生3名継続参加
4 第3次	4/29	金 5/2	月 3		1	5	1	10	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥だし作業、現地意向調査	
5 第4次	5/8	日 5/10	火 1	1				2	小学生カウンセリング、今後の打合せ	小学生対象カウンセリング開始
第5次	5/9	月 5/12	木		1	4		5	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業	
6 第6次	5/11	水 5/14	土 2			5		7	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査、小学生・中学生・高校生への学習支援	今回から、夜間学習支援開始
7 第7次	5/22	日 5/24	火 1	2		4		7	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査・弾丸ツアー受入準備、小学生カウンセリング	事務職員のカウンセラー参加
8 第8次	5/24	火 5/25	水 3	1	1	16	2	23	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査、小学生カウンセリング	弾丸ツアー1、保健師、カウンセラー参加
9 第9次	5/25	水 5/26	木 1	2	1	26	2	32	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査、小学生カウンセリング	弾丸ツアー2、保健師、カウンセラー参加
10 第10次	5/26	木 5/27	金 5	1		24	2	32	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査(小学生招待について)、小学生カウンセリング	弾丸ツアー3、カウンセラー参加 小学生招待案の検討スタート
11 第11次	6/3	金 6/5	日 1	1				2	現地意向調査(小学生招待について・生活必需品)、小学生カウンセリング	
11 第12次	6/9	木 6/12	日 1	1				2	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査(小学生招待について・生活必需品)、小学生カウンセリング	
12 第13次	6/10	金 6/12	日		1	7	2	10	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・側溝泥出し作業、復興ひまわり植付	
13 第14次	6/15	水 6/17	金 1	1		4		6	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査(小学生招待について)、小学生カウンセリング	カウンセラー参加、14回派遣と合流
14 第15次	6/23	木 6/25	土	2				2	小学生カウンセリング	1名14派遣と合流
15 第16次	6/24	金 6/26	日 1	1		5	1	8	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、生活必需品配布(戸別)・小学生カウンセリング	
16 第17次	6/30	木 7/2	土	2				2	小学生カウンセリング	
参加者延べ人数			26	18	6	113	14	177		

松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト活動報告

	派遣隊	日程			参加人数						活動内容	備考	
		出発日	～	帰省日	教員	専門家	職員	学生	他	計			
17	第18次	7/1	金	7/3	日	4			6	3	13	大街道小学校区内の家屋の瓦礫撤去・泥出し作業、現地意向調査(小学生招待について)、物資支給	卒業生2名参加
18	第19次	7/7	木	7/8	金	1	1				2	小学生カウンセリング、現地意向調査(小学生招待について)、物資支給	
19	第20次	7/14	木	7/15	金	1	1				2	小学生カウンセリング、現地意向調査(小学生招待について)、物資支給	
20	第21次	8/28	日	8/30	火		1			1	2	小学生カウンセリング、現地意向調査(現状調査)	一般の方が参加
21	第22次	9/4	日	9/5	火	1	1				2	小学生カウンセリング、現地意向調査(今後の支援活動のニーズ調査)	10月に本学で実施する大学祭への参加意向調査
22	第23次	9/5	月	9/6		1	1				2	小学生カウンセリング、現地意向調査(今後の支援活動のニーズ調査)	10月に本学で実施する大学祭への参加意向調査
23	第24次	9/11	日	9/13	火		1				1	小学生カウンセリング	
24	第25次	9/29	木	9/30	金	2	1	1	5	1	10	産業復興支援の調査、大学祭での物資販売について小学生カウンセリング	大学祭の打合せ、シンポジウムと特産物の販売の可能性を調査
25	第26次	10/13	木	10/14	金	2	1	1	4	1	9	産業復興支援の調査、大学祭での物資販売について小学生カウンセリング	大学祭に災害支援シンポジウムと物産販売を実施する打ち合わせ。販売品目は石巻やきそば、災害缶詰、笹かまぼこ、秋刀魚の4品
26	第27次	10/27	木	10/29	土		1			1	2	小学生カウンセリング・大街道小学校運動会参加	
27	第28次	11/10	木	11/11	金		1		1	1	3	小学生カウンセリング・大街道小学校マラソン大会参加	
28	第29次	11/23	水	11/25	土	2	1				3	小学生カウンセリング・復興支援ニーズ調査	
29	第30次	12/1	木	12/2	金		1		1	1	3	小学生カウンセリング・復興支援ニーズ調査	
30	第31次	1/12	木	1/13	金		1			1	2	小学生カウンセリング・復興支援ニーズ調査	
31	第32次	2/9	木	2/10	金	1	1				2	小学生カウンセリング・復興支援ニーズ調査	
32	第33次	3/1	木	3/2	金	1					1	小学生カウンセリング・復興支援ニーズ調査・平成24年度活動打ち合わせ	
33	第34次	3/12	月	3/13	火	2	1		6		9	小学生カウンセリング・23年度最終活動報告会	
34	第35次	3/18	日	3/21	日	1	1		5		26	松本大学生企画「花いっぱい活動-花で癒しをー」(雄勝町)及び台湾エデン財団八福障害生活発展協会「台湾jinがんばれ東北事業(台湾の歌コンサート)への協力	
35													
参加者延べ人数						19	16	2	28	31	94		
参加者延べ人数						45	34	8	141	45	271		

サマーキャンプ (担当:プロジェクト、松本大学・松本大学松商短期大学部)

	日程		参加人数						活動内容	備考
	出発日	～ 帰省日	教員	専門 家	職員	学生	他	計		
小学生 受入	8/7	日	1		1	11	2	15	石巻へ 大型バス3台 中型バス1台	迎え
小学生 受入	8/8	月						0	児童の健康チェック後 7:00 石巻発 小学生119名 保護者20名 教員4名 看護師2名 145名 迎いの 学生11名 17:30頃 浅間温泉着	5軒の旅館に分かれて浅間温泉泊 生活班の学生が児童をサポート
小学生 受入	8/9	火	16	3	10	200	1	230	学生のきかした7プログラムに分かれて活動。 夕食後18:30～浅間温泉にてミニ縁日 昼食は、全員アルプス公園に集合。ピクニック感覚の 昼食。	アルプス公園にて昼食・浅間温泉 泊
小学生 受入	8/10	水	1		1	13	1	16	8:20 浅間温泉お別れの会。9:00 松本大学お別 れの会。10:00 松本発 19:00 大街道小学校着	送り 車中にて昼食・準備
小学生 受入	8/11	木						0	7:00 大街道小学校発、13:30 松本大学着	
参加者延べ人数			18	3	12	224	4	261		

チャリティー コンサート(担当:山根宏文)

	日程		参加人数						活動内容	備考
	出発日	～ 帰省日	教員	専門 家	職員	学生	他	計		
	2/11	土	1				4	5	成田空港ミュージシャンの出迎え・市内泊	
	2/12	日	3		1	24	875	903	塩尻レザンホールにてチャリティーコンサート「フライ ズ・アロハ・チャリティーコンサート」・松本大学災害支 援プロジェクト活動展示	トートバック販売
	2/13	月					4	4	成田空港ミュージシャン送り	
参加者延べ人数			4	0	1	24	883	912	一般参加者 883名	

One Day 弾丸ツアー

《 スケジュール 》

- 第1弾: 5月24日(火)20:00 松本大学集合・出発
5月25日(水) 作業 約7時間
5月26日(木) 零時 松本大学解散
- 第2弾: 5月25日(水)20:00 松本大学集合・出発
5月26日(木) 作業 約7時間
5月27日(金) 零時 松本大学解散
- 第3弾: 5月26日(木)20:00 松本大学集合・出発
5月27日(金) 作業 約7時間
5月28日(土) 零時 松本大学解散

(活動資金の一部として、大和証券福祉財団の平成23年度東日本災害支援補助金を充当しました。)

《 目的 》

現地のニーズに応える形で、集中して被災地支援を実施した。一方、ボランティアをする学生も参加したくとも講義の関係で参加できないなどの要望があり、短期に集中してボランティアに参加できる方法をとった。

《 実施報告 》

今回の「One Day 弾丸ツアー」の現地受入をスムーズに行うために、事前に東日本大震災災害支援プロジェクト(松本大学災害支援ボランティア団体)の代表及び活動責任者が打ち合わせを重ね、現地の受け入れ先との調整を図り、体制を整えた。一方、学内では、学生及び教職員に案内を出し、希望者を募った。メンバーが決定した段階で、参加者向けオリエンテーションを実施。ボランティア活動の専門家が学生及び教職員へ事前指導を実施した。

当日は、プロジェクトのメンバーと引率の教職員が協力して、混乱を招かないように、また事故の起きないように配慮した。



大型バス, 中型バスを利用して、石巻大街道小学校まで3日間、学生のピストン送迎を実施した。ドライバーは夜中走るため2名体制で6名依頼。

前日の20時に大学を出発した学生はバスの中で眠り、次日の朝7時に現地到着。7時30分から1日復興支援活動を行い、16時に石巻から松本へ。夜中の零時に松本大学で解散というハードな日程であった。授業を出来るかぎり休まずに、学生の「復興作業に協力したい」という思いを叶えるためには、この方法しか選択の余地がなかった。

作業箇所が数カ所に分かれるため、連絡用の車を一台準備。各作業場所への連絡や、飲み水の補給、遠い作業場への学生の送迎等、幅広く利用した。



現地に到着した学生は、早速、松本大学後援会(保護者会)が用意した揃いのユニホームをはおり、5、6名のグループに分かれて、担当の作業場所へと向かった。各グループには、教職員かあるいはすでに何回か現地で復興活動を経験している学生が同行。





ボランティアに入った家は、大街道小学校の避難所にいる方々にヒアリングを行い、そこで要望を聞き、作業内容など丁寧に確認して行った。「もう家の片付けを諦めていたけど、そのきっかけを作ってくれた」など喜んでいただけた。学生も死にものぐるいで作業をした。



昼食は、大街道小学校敷地内にある松本大学本部に戻って、現地で調達したお弁当をいただく。現地でお金を支払うことに意味があるとの考えのもと、現地で購入できるものは出来る限り現地で買うこととした。

学生は、体に染み込んだヘドロの悪臭と蠅に悩まされて食が進まず、経験者から「食べないと、体が持たない」と叱咤され、何とか食べていた。

昼休みに、改めて周囲を見回し、言葉も出ずに茫然と見つめる学生達。



土のう袋は、何枚有っても足りない状況であった。



15時30分、作業終了、帰り支度にかかる学生達。16時に出発するためには、後片付けや着替えを手際よく行わなくてはならない。

《 まとめ 》

学生にとっては、ハードスケジュールではあったが、「1日だけ」ということで参加しやすく、多くの学生がボランティア活動に参加することができた。

学生の黙々と作業する姿は、キャンパス内でみかける姿と大きく異なり、逞しささへ感じた。学生にとっては、大変貴重な体験であったことだろう。

今まで、現地ニーズを優先して取り組んできたプロジェクトであったが、今回はボランティアの事由が優先させた結果となった。しかし、一度に学生を投入したことで、被災地の皆さんからは感謝された。

ご支援頂いた皆様に、心から感謝いたします。

大街道小学校の皆さんを迎えて

松本サマーキャンプ

《 2011年8月8日(月)～10日(水) 》

< 1日目 浅間温泉へお出迎え >

8月8日(月)夕方、「大街道小学校のみなさん、ようこそ！」横断幕でお出迎え。



松本大学生と児童の賑やかな声に包まれながら、浅間温泉の各宿で夕ご飯。



< 2日目 7つのグループに分かれ活動 >

8月9日(火)昼間は、7つのグループに分かれて、松本大学のお兄さん、お姉さんと松本を楽しみました。

A班「思いっきりスポーツ！」は松本大学総合グラウンドで大学のお兄さんたちとサッカー三昧。



B班は「地域づくり考房『ゆめ』」で、松本大学のお姉さん達とお菓子づくり。七夕飾りを作って、出来上がったお菓子を食べながら茶話会。短冊には復興への願い。



C班はトマト畑でトマトを収穫。大学のお姉さんと収穫したトマトを使ってミートソースの缶詰作りに挑戦。完成した缶詰は家族へのお土産です。



D班「ニュースポーツのいろいろ」は松本大学第1体育館でニュースポーツ体験。



E班は市街を散策、松本城の天守閣にも登りました。案内役は松本大学のお兄さん、お姉さん。



アルプス公園(F班・G班)では、松本大学学生が児童たちの遊びのお手伝い。岩登りや動物たちと触れ合い。笑顔が溢れます。広い芝生を思いっきり走り回る児童たち、学生も大学の教職員も童心にかえり、一緒に遊びました。

F班は岩登りヘトライ。



G班は動物たちとの触れ合。可愛い！



アルプス公園で思いっきり遊び回る児童たち。



お昼には、参加者全員が公園に集合。青空の下でみんな一緒に昼食。おにぎりや山賊焼き、信州の新鮮野菜に児童たちから「おいしい」と歓声。



体最後に、児童全員で「ドリームコースター」を体験。学生たちと仲良くなった児童たち、笑顔が輝いていました。



< 2日目夜・浅間温泉縁日 >

8月9日の夜は、浅間温泉や松本の有志の皆さんが縁日を開いてくれました。お手伝いは松本大学の学生たち。スイカ割り、射的、ヨーヨー釣り等、児童たちは、全員参加。楽しい一時となりました。



「松本ぼんぼん」も松本大学生や本郷小学校の児童たちと一緒に踊り、みんなでジャンプ！



< 3日目お別れの朝 >

8月10日朝。前日の夜、旅館で「帰りたくない」「時間がもったいない」と学生たちと夜更かししていた児童たちでしたが、全員元気で浅間温泉の皆さんとお別れの会。



松本大学では、全員で笑顔の集合写真。



元気で頑張ること、そして再会を約束してエール。



「また、松本に遊びにおいでね」のメッセージを込めた、手づくりのブローチを児童に手渡す学生たち。



出発間際、泣き出す児童たちもいて、大学生も涙ぐみながら、「またね!」「元気であるんだよ!」と最後まで手をつないで別れを惜しんでいました。



松本大学の学生や教職員に見送られて出発する4台のバス。



**ご協力いただいた皆様
ありがとうございました**

松本大学東日本大震災支援プロジェクト

《 大街道地区の方々とのふれ合い 》

《 心のサポート活動 》

松本大学では、5月から24年3月まで大街道小学校の一室をお借りして、子ども達や、教職員、保護者の心のサポートを定期的に行って来ました。学生達は、運動会やマラソン大会に招待され、林檎をプレゼントしたり、一緒に楽しみました。23年度最後の訪問の時に、児童と大学生でお互いのメッセージを交換して「絆の木」をつくりました。



《 勉強会 》

大街道小学校にて、希望する小学生～高校生の皆さんに、学習支援活動を行いました。教室や体育館での避難生活では、思うように勉強ができません。

(8月に仮説住宅へ移るまで実施)



《 復興ひまわり 花を咲かそう 》

津波で家が浸水し、私たちがボランティアで泥かきを行ったお宅。

そのご縁でひまわりの種をお届けしたところ、8月に見事に花を咲かせました。

8月上旬の様子



24年3月

「復興半ばの被災地を花で明るくしよう」と学生が発案し、湾に面した集落が津波で壊滅的な被害を受けた石巻市の雄勝町を中心に花を植えることを計画し、松本・塩尻の高校生が育てた花を植えました。今回は、本学と交流のある台湾の福祉団体八福生活発展協会の障害者を含む27名が同行し、学生や被災者と共に花を植え、台湾の歌を披露するなど地元の被災した皆さんと国を超えた交流を行いました。学生にとっては、台湾の障がい者団体を被災地に案内できたことは、ボラン・ツーリズムの実現でもありました。

「心のケア」は先発隊を派遣した時点で、メンバー



に臨床心理士を加えて、現地の状況を専門家の目で確認し、カウンセリングの必要性を痛感。

実際にカウンセリングの支援活動がはじまったのは、5月8日の第4次派遣からです。以後、古林康江スクールカウンセラーと中山文子臨床心理士（短大部専任講師）を中心にその他の教職員や学生も交え、7月からは月2回定期的に、平成24年3月までカウンセリングを実施しました。また、学生は児童たちの遊び相手になることで、カウンセラーの手伝いをする事ができました。

(この活動を継続するための交通費を財団法人 JKA「東日本大震災復興支援」の補助金で賄いました。ご援助頂いた皆様、ありがとうございました。)

平成23年度 松本大学東日本大震災災害支援プロジェクト 会計報告

収入の部		支出の部	
1. 松本大学関係団体寄付・関係者募金 教職員 830,621 学生 197,982 フラ・チャリティー 867,324 松本大学関係団体(同窓会、後援会など) 2,608,686 松本大学関係機関・関係者寄付金合計 4,504,613 2. 外部資金 中信地区各団体よりの寄付(注1) ロータリー・ライオンズ倶楽部・商工会 その他団体(同窓会・俳句会など) 455,647 中信地区各団体よりの寄付金計 1,459,647 補助金(注2) 大和証券福祉福祉事業団 500,000 財団法人 日本財団 1,000,000 財団法人 JKA 2,995,000 補助金収入計 4,495,000 一般(個人)よりの支援金 127,905 外部資金合計 6,082,552 3. その他 利息 211	1. 瓦礫撤去 旅費・交通費 ガソリン代他 10,952 消耗品 瓦礫・泥だし作業用の道具・土のう 物資購入 301,711 72,211 食糧費 ボランティア参加者食事・水他 173,461 その他 風呂代 24,500 クリーニング代他 20,798 瓦礫撤去に関わる支出合計 603,633 2. One Day 弾丸ツアー 旅費・交通費 往復バス代+8/9ガソリン代 738,406 消耗品 作業用具・作業ベスト等購入 310,805 食糧費 昼食・夕食・水他 121,054 その他 修理代他 12,106 「One Day 弾丸ツアー」活動支出合計 1,182,371 3. サマーキャンプ 旅費・交通費 往復バス代 平成交通 913,500 本学バス運転委託料+ガソリン代 719,547 バス運転手宿泊代・移動費 25,140 宿泊費 浅間温泉2泊分 1,739,555 活動日の移動費 21,900 保険 学生・参加対象 98,525 食糧費 昼食代 3回分 221,100 飲料水 3日分 180,000 送迎担当者食事代 70,520 活動資金 送迎バス内での学生企画 16,385 グループ別活動費用 49,594 浅間温泉ミニ縁日費用 61,822 その他 14,492 サマーキャンプに関わる支出合計 4,132,080 4. カウンセリング等 旅費・交通費 本学バス運転委託料 9回分 1,738,842 ガソリン代他 80,247 宿泊費 459,600 JR・バス・タクシー 717,250 食糧費 石巻での食事代 91,457 その他 消耗品、植栽グッズ、リンゴ代等 43,979 カウンセリング等に関わる支出合計 3,131,375 5. その他 (シンポジウム、被災地特産品販売等) 大学祭、シンポジウム他 58,983 栄村支援 39,759 来年度活動の準備として (アパート契約他) 273,360 その他の支出合計 372,102 平成23年度収入合計 10,587,376 平成23年度支出合計 9,421,561 来年度への繰越 1,165,815		
合計	10,587,376	合計	10,587,376

注1: 中信地区各団体よりの寄付金は主にサマーキャンプ実施の際に充当。

注2: 大和証券福祉福祉事業団の補助金は「One Day 弾丸ツアー」の活動に充当。財団法人日本財団の補助金はサマーキャンプ実施の際に充当。

財団法人JKAの補助金はカウンセリング活動に充当。